



笑顔
をつなぐ
仕事



社会福祉法人 米原市社会福祉協議会 職員採用案内

あなたの力を活かしてみませんか。

米原市の福祉・介護を支える 仲間を求めています

『社協（社会福祉協議会）とは』

社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ること」を目的とする民間団体で、地域の自治会やボランティア組織をはじめ、民生委員・児童委員等の地域組織や社会福祉機関、団体等により構成されています。

『活動・取り組み』

私たちは、『つながりで 地域の暮らしを支える』の推進方針のもと、地域の様々な困りごとを抱える人たちが、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らし続けることができるよう、家族や友人、近隣住民、事業所や行政などが協働し、身近なところで見守り、支え合う地域づくりを進めています。

☞ 顔の見えるつながりを深める



米原市社会福祉大会



福祉学習



子育てサークルの
育成支援



広報・情報発信

☞ 助け合い、支え合うひとを育む



ボランティアセンター
（ボランティア訪問）



福祉人材育成事業
（介護職員初任者研修）

☞ みんながつながるまちをつくる

- ・地域ニーズ・社会資源の把握
- ・福祉サービス事業者の支援とネットワーク化など

☞ くらしを守る活動を広げる

○子どもから高齢者まで一人ひとりに寄り添います。

- ・相談支援
- ・権利擁護センター
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・放課後児童クラブ
- ・介護保険事業（ケアプランセンター、デイサービス、ホームヘルパー など）
- ・障がい者福祉サービス（障がい者相談支援センター、就労継続支援 B 型事業 など）



ほおずき作業所
（リサイクルショップ）



デイサービスセンター
（機能訓練）

○身近な地域で支え合います。

- ・ご近所活動の推進
- ・福祉活動団体等の支援
- ・善意銀行
- ・赤い羽根共同募金
- ・ファミリー・サポートセンター
- ・災害支援体制の整備



子ども食堂の支援



まいばらまるごと交流会



災害ボランティアセンター

『職場環境』

☞ 人材育成（研修・キャリアアップ）

- ・新人から経験年数に応じた研修制度により、一人ひとりに合ったキャリアアップを支えます。
※研修時間も勤務として扱われます。
- ・資格の取得により、給与手当（正規職員）の支給や、昇給制度（正規職員以外）があります。
- ・部門横断プロジェクト会議やQC活動で、職員間の連携と知識が広がります。



介護技術研修



部門横断プロジェクト事業
（みんなでごはん会）

☞ 福利厚生

- ・各種慶弔給付金や国内施設等優待割引制度などが使える、全国組織の福利厚生センターに加入しています。（パート職員は別途、任意加入制度あり。）
- ・健康診断、ストレスチェックは年1回実施し、必要に応じ産業医との面談もできます。

☞ ワークライフバランス

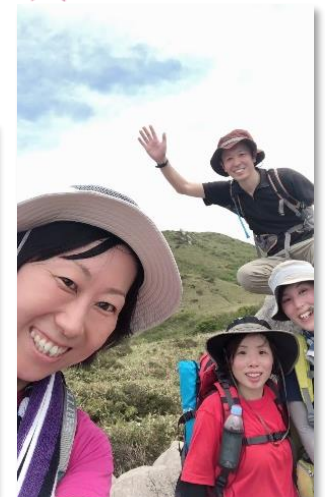
- ・年次有給休暇：パート職員も含めてすべての職員に、採用後6か月後に付与されます。
取得方法は、1日単位だけでなく、半日や1時間単位でも使うことができます。
- ・特別有給休暇：慶弔休暇の他、年次有給休暇がない採用後6か月未満の職員の急な休みにも使える制度があり、採用直後の不安定になりがちな時期を支えます。
- ・短時間勤務制度：正規職員・准正規職員はこの制度を使うと、1日の勤務時間を6時間まで短縮したり、1週間の休日数を1日増やすことができます。
- ・育児への支援：産前産後休暇（14週）や最長2歳までの育児休業のほか、子どもが小学校へ就学するまで勤務時間を短縮することができます。
※短時間勤務制度を使うことで、さらに期間を延長することもできます。
※男性職員の育児休業取得実績もあります。
その他、子連れ出勤も可能です。（相談ください。）
- ・介護への支援：家族に介護が必要となった場合には、介護休暇が1時間単位で使えます。



【子連れ出勤】



【QC活動報告会】



【サークル活動（登山部）】

Interview 01 ～一人ひとりの思いを大切に！～

地域福祉課 地域支援担当
ソーシャルワーカー

米田 実加 (2013年入職)

地域の皆さんと一緒に「住み良い地域」をめざして小地域福祉活動や支え合いネットワーク活動を推進しています。

また、子ども向けの福祉学習や、認知症キャラバンメイトの皆さんと一緒に啓発活動に参加したり、ボランティア活動の支援などを担当しています。



仕事のやりがい・魅力

私は新卒で入職し、権利擁護センターの業務に5年間従事しました。個別支援を中心に経験を積む中で、たくさんの「どうすればいいだろう」という地域の困りごとの声を、聞きました。

その時の声は今担当している地域支援の業務を行う上での基礎となっています。

担当部署や業務の幅が広く、たくさんの人と出会い、様々な経験をすることができると、これが社協で働く魅力であり、やりがいです。



社協への就職を考えているあなたへ

社協に興味はあるけれど、することが多くて大変そう…自分にできるかな…と思っているあなた！！私も入職前は同じ気持ちでした。でも、心配いりません。周りの皆さんが一から教えてくれます！！一緒に働けることを楽しみにしています。

Interview 02 ～地域と共に障がいのある利用者の成長を支えています。～

在宅生活支援課 ほおずき作業所
サービス管理責任者

氏原 優 (2013年入職)

作業所では、リサイクルショップ、喫茶、工場の下請け作業や、買い物支援として移動販売などを行っています。

私は、サービス管理責任者として、利用者の個別支援計画の作成や、関係機関との調整などを担当しています。

仕事のやりがい・魅力

事業所の運営に、たくさんのボランティアや地域住民の方が関わってくださっているため、多角的な視点で物事を見ることができ、新しいアイデアが生まれます。

利用者が地域の方と交流したり、一緒に活動することで利用者の意外な一面が見えることもあります。これも、地域とのつながりを大切にしている社協の魅力だと思います。

社協への就職を考えているあなたへ

作業所に来られている利用者の皆さんの生活のベースは、当然ですが地域にあります。安心して地域での生活が送れるように、支援のあり方を考えていくという視点を社協に入職し、学ぶことができました。

障がいのある方の暮らしを幅広く支援する仕事が、社協にはあります。



Interview 03 ～ライフステージに合わせた働き方ができました。～

在宅生活支援課 デイサービスセンターはびろ
生活相談員／介護職員

加藤 麻美 (2009年入職)

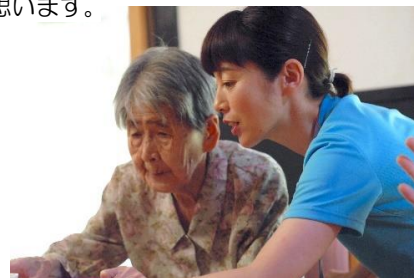
入浴介助や体操、レクリエーションのほか、生活相談員として、利用者さんやご家族との相談業務、他の事業所との調整や手続き、地域との連携など、介護サービスに関係する様々な連携と調整を担当しています。



仕事のやりがい・魅力

私が、この仕事を始めたのは、末の子（3人兄弟）が幼稚園の時です。半日勤務のパートから始められたので、子どもとの時間もしっかり取ることができました。

その後、子どもの成長に合わせて勤務時間や日数を増やし、末の子が中学生の時に正規職員の試験を受けました。ライフステージが変わっていく中で、職場を変わることなく、自分に合った働き方を選択できたのは良かったと思います。



社協への就職を考えているあなたへ

あなたが学生時代に打ち込んだ何かが、介護の現場でも役に立つことがあるかもしれません。私のようにゼロからのスタートでも研修を受けたり、経験に応じて資格を取得するなどスキルアップも図れ、とてもやりがいのある仕事です。

Interview 04 ～仕事と、趣味が渾然一体に～

在宅生活支援課 ヘルパーステーション山東伊吹
訪問介護員 (パート職員)

澤 逸子 (1999年入職)

要介護認定を受けられた高齢の方や、障がいのある方を訪問して、生活に必要な家事や食事、入浴などの介助をしています。



仕事のやりがい・魅力

ヘルパー3級の資格だけで入職。ほんの腰掛けのつもりが、職場の居心地の良さにもう20年です。

パートであることで、仕事の合間に何度も家に帰ることができ、子育てが優先。また結婚以来遠ざかっていたボランティアも、仕事の研修と並行して、いろいろな講座を受けて始めました。朗読や紙芝居、音読、傾聴、地域のサロン。不思議な事にすべてが一つにつながっていて、趣味と仕事が渾然一体。たぶん仕事をやめたあとも楽しい老後が待っています。



社協への就職を考えているあなたへ

これまで、様々な利用者さんに会ってきましたが、それぞれに生きてこられた時間を、ほんの少し共有させていただく中で、私自身の視野が広がり、心が豊かになったと思います。

社協は、人について学ぶ最適な職場です。訪問介護員という仕事から、人との出会いに目を開かれ、地域のことにも関わる目を持つきっかけをもらいました。

まず飛び込んでみる。そして欲ばって学ぶこと。社協には、楽しいことがいっぱいころがっています。



社協広報キャラクター『てんてん』

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会

〒521-0023 滋賀県米原市三吉 570 番地 米原市米原地域福祉センターゆめホール内

電話0749-54-3105 Fax0749-54-3115

<http://maibara-shakyo.or.jp/>

発行：令和元年9月